

平成24年度 第14回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 本庁地区3 ～



日時：平成24年10月23日（火）

午後7時00分～8時30分

場所：市役所7階7A会議室

参加者

自治会連合会第五支会、自治会連合会第六支会、自治会連合会第七支会、自治会連合会第十支会、中央公民館運営協力委員会、子どもサポート委員会、中央公民館登録グループ連絡協議会、川越第一小学校愛校会、中央小学校PTA、中央小学校育成会、仙波小学校PTA、仙波小学校育成会、川越第一中学校PTA、富士見中学校PTA の皆さん 28名

出席者

市長、宍戸副市長、政策財政部長、総務部長、市民部長、福祉部長、産業観光部長、都市計画部長、建設部長、学校教育部長

意見数

分類	件数	内容	頁
保健・医療・福祉	1	休日診療所	17
教育・文化・スポーツ	7	いじめ問題	3
		通学路の電灯	3
		少年少女スポーツ大会	12
		スクールゾーンの見直し	13
		子どものための施設	17
		中学生の地域の行事への参加	18
		PTAへの自治会の協力	22
都市基盤・生活基盤	7	歩道の確保	6
		本川越駅西口の開発	6
		川越市駅のエスカレーターを設置	9
		川越市駅の西口開発	9
		都市計画道路の進捗状況	13
		交差点の改善	15
		都市計画道路	20
環 境	1	市内の全面禁煙	6
地域社会と市民生活	3	自治会会館用地	8
		交通ルール・マナー	18
		自治会への加入	18

行 財 政 運 営	4	医師会の跡地	13
		遊休土地	15
		公共施設の設置	15
		来年度のビジョン	23
計	23		

意見交換（要約）

《いじめ問題、通学路の電灯》

意見 今、いじめ問題が喫緊の課題になっているかと思うんですけれども、その辺、行政のほうとしてはどんな取り組みを考えているのか、私どもサポート委員会の一員として青少年の健全育成を図ろうということで、ボランティアで努力しているところなんですけれども、今、いじめについては、暴力的ないじめだとか、それからメールに基づく精神的ないじめだとか、いろいろあるかと思うんですけれども、その辺、どんな処方箋があるのか、行政のほうからお聞かせいただきたいと思っています。

先般、教育長のほうからも、今までは学校側が閉鎖的だと言われていたのが、積極的に生き生きと一緒にタグを組んで青少年の健全を図ろうというお話をいただきました。そういったことも前向きに我々も取り組んでいきたいなと思っていますので、行政とどんな形で取り組んでいったら、そういった青少年の健全育成がスムーズにいくのか、ぜひお聞かせいただければと思っています。よろしくどうぞお願いします。

学校教育部長 子どもサポート委員会も含めて、地域の取り巻く環境の中でいろいろご支援いただいています。学校だけでなく、地域や家庭が一体となってやっていく中で、子どもサポート委員会の取り組みとか、先日もPTAの方々との話し合い等も含めて、子供の健全育成についてお話をさせていただきました。

例えば学力向上検討委員会の中では、家庭の中で、子供との触れ合う時間帯をふやしていくとか、家庭学習を充実させていこうとかという話し合いがなされました。教育委員会では、一番大事なのは、何よりも日々の教育活動の充実ということだと思います。先日も、校長会でお話をしましたけれども、各学校が一人一人の児童を見守り、大切にした教育活動を推進していこうということで、今、校内研修の充実だとか、生徒指導にかかわる対応の仕方について研修にかかわっております。

また、先日、ご提言をさまざまな議員さんからいただきました。そうした提言についても、具体策をもって対応していくことを今考えています。特に、今、課題になっている学校については、生徒指導の関係で、生徒指導の担当のスクールランチを配置するという取り組み、また、学校訪問、校種間連携ということで、小学校、中学校ともに相互に関連し合っていくということで、川越市内を8地区にブロックに分けて、担当の指導主事を定め、随時学校訪問しながら、管理職あるいは生徒指導からさまざまな相談にすぐ乗れるようにしております。

先般、いろんな事件等がございましたけれども、学校だけでは対応しきれない部分

はすぐに教育委員会も派遣し、一緒になって解決していこうと取り組んでいるところでございます。

あと、学校にいじめの相談ができない場合とかは、教育総合相談センターのリベラというところで、いじめに特化した電話相談をしております。匿名でも結構ですから、そうしたところで相談をしていくことで、いろんな対応ができれば一番いいと思っています。

一つの方法だけでなく、学校だけでなく、多くの方々が協力し合って、全力を尽くしてやっていきたいと考えています。

意見 ありがとうございます。地域としては、具体的な取り組みをつくっていただければ一番わかりやすいのかなと思っています。私一番心配しているのは、暴力については意外と見やすいんですね。どこまでが暴力かというのは、いろいろ社会問題があるんですけども。問題なのは、メールとか裏サイトとか、その辺が見えてこないもので、行政の中でどういうプロジェクト、ある自治体はプロジェクトを組んで、その辺の専門の人たちが何人が集まって、全く素人だと、そういう知識については理解していない人がいてもしょうがないので、専門性を持った人たちがそういうプロジェクトをつくって、裏サイトとか、そういった危険に対してどう防ぐかということをやっている自治体もあるようですけれども、そのほかにインターネットキャラバンとかという形で、行政の中で組んで学校を回っているとかという話も聞いているんですけども、いずれにしても、いじめの中から自殺があって、尊い命を落とさないように、我々も取り組んでいかなきゃいけない。

地域で何ができるかということで、教育委員会、学校とタッグを組んで、顔が見えるまちの中から我々地域としては、そういったいじめ等の対策が防げる部分があるのかなと、こんなふうに思っていますので、課題はこれだからこれを解決するというのではなくて、日常生活の中で、子供たちと一体になって、解決が図ればいいのかということでも取り組もうとしていますけれども、また、ぜひ行政のほうからもいろいろご指導いただいて、今、子供たちも安心して暮らせるまちづくりにしていきたい、こんなふうに思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それからもう1点なんですけれども、今、通学路の問題があるんですね。これは、私の地域の住んでいるところなんですけれども、具体的には、埼京線の新河岸川の橋の工事が終わって、砂中の子供たちが、あそこを下がくぐれるようになったんですよ。本当に狭い道で車が結構多かったんですけども、田んぼの中を通過して、砂中まで通うようになったんです。新河岸川の堰堤の上を通過して、埼京線の下をくぐってという

ところがあるんですけれども、そこが堰堤ですから、真っ暗なんです。前の仮設した通学路のところにも電灯が用意されたんですけれども、そういうのを早くしてあげないと、今冬になると暗くなっちゃいますので、その辺も早く対応いただければと要望をしたいと思います。

市民部長 防犯灯の設置につきましては、地元の自治会のほうからの要望に基づきまして設置させていただいておりますので、今の要望の箇所につきましては、安全安心生活課のほうにご要望をしてありますか。

意見 防犯灯じゃなくて、ソーラーのものが線路のところに置いてあるんですよ、前の仮設のところ。それが今使わなくなっているから、即そちらに移動してくれるとありがたいなと。ソーラーだからそのまま動かせばいいと思いますので、教育委員会の対応だと思いますけれども、お願いしたいと思います。

市民部長 後で場所を教えさせていただいて、教育委員会か市民部のほうで対応していきたいというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

市長 いじめの問題につきましては、先ほど部長の話の中にも出てまいりましたが、9月議会で何人かの議員さんから大変建設的な有益なご提言をいただきまして、それをぜひ取り入れたらどうかという、そういうことを教育委員会のほうには要請してございます。特に、実際に子供のころいじめを経験したという議員さんが、子供にアンケートをとっていじめの実態を調査することについて、アンケートのとり方も通り一遍じゃなくて、いろいろ工夫が必要なんだという、そういうお話もいただきまして、そういうものもぜひ取り入れていきたいというふうに考えています。

それから、今、いじめが比較的多い学校であるとか、荒れた学校、子供が暴力を振るう、そういう学校が幾つかあるという報告を受けておまして、それについては、今の考えとしては、生徒指導、生活指導付きの教員を市の費用で雇って、そういう学校に加配する、要するに多く人を充てるといふ、そういうようなことをやろうというふうに考えておまして、実際には来年度からということになろうかと思いますが、そういうようなことも考えております。

教育委員会も今、先ほど申し上げた議員さんからの提案も含めて、具体的にいろいろ動いているところであるというふうに思います。

あと、通学路については、暗くて危険だという問題も含めて、できる限り安全を確保するための拡幅であるとか、歩道をつけるとか、ガードレールをつけるとか、そういうかなり費用がかかるから、改善すべき通学路は非常に多くて、それほど早いスピードでわっとやるというのはなかなか難しいかもしれませんが、路面表示とか、

そういうようなものと並行して、そういった抜本的な安全対策を次年度から少し予算をとってやっていこうと、そういうふうなことを考えています。

《歩道の確保、市内の全面禁煙、本川越駅西口の開発》

意見 1つは、パークファミリア前にありますこれは中原町2-18-1、川島せんべいさんというところの歩道が、パークファミリア前のところは車で走れるぐらい大変広いんですけども、川島せんべいさんのところに行きますと、もう道路と歩道との段差が激しく、車いすも通れない。電柱が出ておりまして、下り坂になっており、その先には西武鉄道さんの踏切があります。これからの高齢化社会の中では、ぜひ片方だけでも歩道の確保を、車いす、人道といいましても、車いすは人道、歩道なんですか、そういうところを何とか早急にお願いをしたいということでもあります。片方でもいいから、ぜひ、左側パークファミリアマンションさんに近いところでも広げていただければ、もう人が通るのも傘を差して通れませんから。これは川越市内でもそういった場所が幾つかあるということを知っておりますので、ぜひ強い要望としてお受けとめいただきたいと思います。

それから、私どもは本川越の駅、それから川越市駅のちょうどはざまにあります。ごみゼロの関係については参加をしていませんけれども、ガス会社の方々とか建設会社の方々が掃除していただいて、非常に助かるんですけども、タバコのポイ捨てがまだ大変多うございます。したがって、ぜひ喫煙所は別にして、全面を禁煙にしたいという要望が出されておりますので、お受けとめいただければと思っております。

これは強く市長さんをお願いしたいんですけども、本川越の西口開発、今から6年以上たっております。この中で周辺の住民に対して、混乱が起きないように、何かきちっとしたお答えをいただきたい。というのは、最初のときに自治会はタッチしない、西口の開発する地域の中でお話し合いをしたいというご要望が市のほうからありました。今、憶測としてあの家がなくなるよ、この家はなくなるよ、あの家はブロックの塀を使って狭い道路みたいなものができているよとか。当初のときには、大体の計画ができれば、自治会長のほうにお話をさせていただきますというご返答だったんです。ところが、3回もう課長さんが変わっていますね。ですから、ある程度決められたものがあれば。近くのお魚屋さんがなくなるよとか、道路が16メートル道路になってバスが走るよとか、いろんな憶測が走っているものです。

また、今まで市のほうへ、何年間もあそこを空き地にしちゃもったいないから、早く西口でもあければ、通っている方は大変助かるんだろうという要望し、ご返事をい

ただいたようなんですけれども、そのご返事も雲をつかむようなご返事だったということなんです。地域住民との話し合いの中で、今個別対応をやっているというお話を伺っています。既にそれがある程度までいっているような状況があります。ぜひそれについては、きちっとしたものを私にいただければ、回覧でも回して憶測が乱れ飛ぶような形を尽くしたいと思いますので、よろしくご協力を。

建設部長 パークファミリアの前、川島せんべいさんのところの件でございますが、ご指摘のとおり、大変あそこの部分がボトルネックになっているという実情を私も認識しているところでございます。

あそこの前の道路につきましては、川越駅の東口の駅前からずっと東武ホテルを通過して西武線の踏切を通過して、川越市駅方面に行く、市内循環線という都市計画道路でございますが、地元の皆様方にはご迷惑かけておりますが、東武ホテル方面にまだ未買収のところが残っておりますが、当然、今、お話しいただきましたとおり、西武線の市駅側についても、そこの部分を何とかしなければと、手前どもも認識しているところでございます。

ここの部分の拡幅につきましては、西武鉄道さんの踏切拡幅、これもあわせてやっていただく必要がございます関係上、西武鉄道ときめ細かに協議を進めながら、その事業スケジュール、あるいは道路の構造等を煮詰めていきたいというふうに考えております。今のところ、具体的に事業スケジュールは立っておりませんが、本日、大変強いご要望をいただきましたので、それを踏まえまして、今後の事業化に向けて検討を重ねさせていただきたいというふうに考えております。

都市計画部長 本川越駅西口の関係で、大変ご心配をかけて申しわけございません。鋭意我々としては、西口駅前広場の用地は確保しておりまして、あとはこちらから川越市駅へ向かう分の用地交渉を今進めておりまして、交渉としてはかなりめどが立ってきているという状況にございます。

まだ、詳細な駅前広場の設計とか、その絵が書けていない状況にあるので、まだお示しはできていないんですが、来年度には設計をやりますので、そういったものが形にでき次第、ご相談をさせていただきたいと思います。

こちらについても、かなり進捗はしておりますので、実は道路が当たる部分のビルがアパートであったり、ちょっとした借家人が多いようなテナントがあるようなビルであったりした関係で、若干皆様方には水面下でやっているように思われるかもしれませんが、着実に進んでおりまして、そう遠くない時期に開設ができると考えております。

先ほど、ちょっと変な要望の回答だったとおっしゃっていましたが、実は西口を暫定的でも開いたらどうだというお話だったんですが、そうなりますと、2メートルぐらいの通路に人が集中したりとかがあって、安全上、よくないだろうということ。不便をおかけしておりますが、なんとか早期開設に向けて頑張っております。

市長 市内の全面禁煙につきましては、検討させていただきます。

《自治会会館用地》

意見 今の西口開発は、中原町一丁目、それから二丁目の強い要望として、市長さんにも心にとめておいていただきたいと思うんですけれども、ご承知のとおり、中原町の一丁目、また二丁目に関しましては、神社仏閣、緑がないんです。先日、アンケートを2丁目で取りました。非常に駅に近くで買い物をしやすいという返事のかわりに、自治会費が高い、それから緑地がない。高齢化社会の中で、二丁目の関係については、現在小・中合わせて14名です。来年度は小学生が4名になります。ところが、75歳以上の方がもう既に104名になりました。それから65歳以上が3分の2以上占めております。

そういった中で、今、中原町一丁目、二丁目の自治会館は、昭和8年5月築で、耐震がどうのこうのと言われますけれども、危険きわまりない、全体で50の上を上がらないというような状況の中で、補助金等をいただきながら、直し直しやっている。そういう関係で、中原町の両自治会で自治会館を建てるというような交渉も立てております。この西口開発について、お求めになった土地の一面をぜひお貸しいただけないかということで強い要望が。

高齢化、防犯、それから子供さんの通学路については、先ほど出ましたけれども、非常にメリット、デメリットがあります。そこに、自治会で建物を建てることによって、そういったものも一定のものが、とにかく犯罪のふえる人通りが多くなる、またメリットもあります。しかし、悪く考えれば、デメリットが非常に多くなるのではないかな。

ぜひ、この際、中原町の自治会館建設のために地所を貸していただけるということを最前提にしながら、計画を立てていきたいと思っているんですけれども。神社仏閣がないのは、月吉さんもないんです。ところが、月吉さんでは、既に市のほうから地所をお借りして、今、建設を進めている。まあアスベストが使われているということで、始まったようなんですけれども。ぜひ中原町自治会館は、もう79年もたっている建物です。見ていただければ古い建物だとわかるんですけれども、何とかその辺について、地域住民にその地所をご提供いただきまして、両自治会がそこで自治会館な

り、またお年寄りの憩いの場、それから何か災害が起きたときには、そこら辺で何かできるような、そういった場所をぜひお考えいただきたいというのが、中原1丁目、2丁目の強い要望としてお受けとめいただきまして、お願いしたいと思います。

市長 本川越駅の西口周辺の整備については、先ほど担当部長から話がありましたが、これはプライバシーにかかわる問題なので、詳しいお話を差し上げるわけにはいきませんが、道路に当たる予定地の土地、建物の所有者の方に相続が発生して、大分時間がかかってしまったという、そういうことがございます。なかなか難しい相続で、そういうことがあって、若干皆様方の考えているより時間がかかっているという面があります。

それから、緑地、緑等につきましては、まだ駅前広場の具体的な絵はかいておりませんので、駅広をつくるときに、できるだけ緑を取り込んだような、そういう駅広にするような、そういうようなこともしっかり頭の中に入れておきたいというふうに思います。

あと、自治会館の建設用地については、それにつきましては、また別途具体的なご要望をいただいたほうがいいと思うんですが、ある特定の自治会にだけ市の土地を提供差し上げるということをやると、ほかの自治会さんからも、そういうご意見も出てきてしまうという問題もありますので、クリアすべき問題いっぱいあるのかなと思いますが、例えば、町部の自治会館などにつきましては、ビルなどの区分所有みたいな形で、部屋を持ってそこを自治会館にするという、そういうような方法もあり得ると思うんです。

ですから、いろんな可能性を検討していただいて、市のほうにご要望をいただけたらというふうに思います。

《川越市駅へのエスカレーター設置、川越市駅の西口開発》

意見 前回、2回目のタウンミーティングに出させていただきますまして、前回も同じ方法で私のほうから申し上げておりました。実は、川越市駅の問題でございます。私どもの町内は、ちょうど川越市駅間、玄関口というような意味合いで、非常に子供のころから親しんでいるところでございます。ですので、ご案内のとおり、大変古めかしいというか、これも今の世の中では、かえってああいうような駅舎もいいんじゃないかとは思っています。だから、駅舎をどうのこうのというのじゃなくて、その中の構造をもう少し考えていただきたい。これは川越市に要望するのめどうかと思うんですが、できれば、川越市のほうと一緒に東武のほうに掛け合っていただくというようなことで、2点ございます。

1点目は、幸いにして、川越市のほうからもお力をいただいたんじゃないかと思うんですが、エレベーターとそれからスロープを早速やっていただきました。これはこの前のタウンミーティングのたしか半年ぐらい後につきましたので、ああ、やっぱり私言っただけでよかったなというふうなあれがあったんですけども、これはありがとうございました。

できれば、もう一つ進歩して、あの上り下りの一つ離れたホームの南側でもいいし、北でもいいですから、エスカレーターを設置してもらえないかな。エスカレーターがあるということは、ご案内のとおり、大変高齢者が多くなっている現状でございますので、今のエレベーターだけでは需要より供給のほうが大変あれじゃないかと、アンバランスになってしまうんじゃないかと思うので、できればエスカレーターを。これはもちろん東武のほうの問題なんですけれども、川越市のほうとしてもバックアップしていただくような、強く要望していただくような形でお願いをしたい。

もう1点は、川越市駅の西口開発です。大きな踏切から向こう側、つまり野田方面の人たちがちょうど朝はずっと踏切がかかりっぱなしですので、電車に間に合うのか、間に合わないのか、非常に気の毒な状態が何年も続いております。だから、どうにかしてあそこのところをうまくできないものかなと。我々が簡単に考えることができるのは、ちょっと斜めにはなるんですけども、東武の旅行案内所みたいなものが道路からちょっと入ったところにあるんですが、あそこのところを取っ払って、真っ直ぐ駅のほうに行けば、改札口をつくって通路になるはずと思うんです。その間は何もありませんので。だから、あの辺をどうして考えてやらないのかなということで、できればこれも市としても東武のほうに強く働きかけていただいて、西口の開発、改札口の設置ということでお願いをできればと思うんです。

過日の川越まつりも大変盛大に、天候にも恵まれたおかげで、100万を超えた。この100万の人たちが川越駅と、それから本川越駅と川越市駅と、この3つの駅の乗降をしているわけですけども、終わってすぐなものですから、きちっとした統計がとれていないので、私もよくわかりませんが、恐らく川越市駅の乗降はものすごい数じゃなかったんじゃないかと思うんです。というのは、やっぱり市内に入るのは市駅が一番近い。あとは本川越駅です。だから市駅の乗降客をもう少し気持ちよくというか、多くあそこで乗降させてもらおうということについては、駅舎の改善ということの中で、エスカレーター等を設置してあげれば、随分違うんじゃないかなと思うので、今回、エレベーターで大分お使いになった方が多かったようで、大変あれはよかったと思うんですが、もう一つ市のほうから強力にバックアップしていただいて、何

とかお考えいただければ。できればなるべくスムーズに、いろんな問題があるでしょうけれども、やはり川越の玄関口の一つとして、市駅も大事な一つでございますので、その辺もひとつお考えいただいて、何とか早急にどうか、確実な線でお話を進めていただければと思うんですが、よろしく願いいたします。

都市計画部長 エスカレーターの設定について、まずエレベーターなんですけど、こちらのバリアフリーということで、ご要望をいただきまして、国とも掛け合って、国庫補助をもらいながらスロープ等、エレベーターを設置させていただいたということでございます。実は、エスカレーターというのは、バリアフリーという観点からすると、バリアフリーの施設というわけではなくて、そういった観点から、なかなか国費をいただくとかはちょっと難しいので、これまでも市駅について、エスカレーターについては我々から働きかけていますが、東武鉄道としてもそれなりにはやったと、鉄道事業者3分の1負担してやったわけですが、やったというような位置づけがありますが、引き続きそういったご要望があることは、働きかけていきたいなというふうに思っております。

また、市駅の関係では、我々としても西口方面というか、線路の反対側からのアクセスをどうするかとか、市駅の今の東側の駅前広場的なスペース、あれが十分ではないとか、こういったことは十分認識しておりまして、まずは、今川越駅西口に大分力を入れてやっておるということもありますが、ちょっと勉強会なんかを企画しながら、あり方を考えていくようなことを早々に着手していきたいなというふうには考えております。

市長 市駅につきましては、私も大学1年のときからこの仕事につくまで、ほとんど土日を除いて毎日学校へ通ったり、事務所へ通ったりするのに、市駅で乗り降りしてましたので、ほとんど外見も変わっていないという、そういうのはよく承知しております。それと、もう一つ、市駅の北側の踏切が引き込み線なんかがある関係で、電車が通ってふさがっている時間が長いと。私の記憶では、あの踏切は1日当たりトータルで9時間近くふさがっていると。連続して一番長い時間ふさがっているのが40分ぐらい開かないという、そういう時間帯があると、そういう報告も受けていまして、あれも早急に何とかしなきゃというふうには認識しております。

日清紡の跡地が住宅地になったという、そういうことも含めて、市駅にぜひ西口をつくりたいという考えは大分前から持っておるんですけれども、どうしても東武鉄道の車両工場がある関係で、東武鉄道さんが全面的にその気になってくれないと、市単独ではどうにもできないことであります。このところで、何とか手をつけようとい

うことで、これから東武鉄道さんと市駅の周辺の開発整備に向けて話し合いを始めようじゃないかという、そういうことを動き始めたという段階です。

駅舎等をつくるについては、基本的に行政のほうが大部分を出さなきゃならないと、そういうことになっています。私もその仕事について、初めて知ったんですけども、霞ヶ関駅は四、五年前に駅前広場も含めて整備しましたがけれども、駅前広場の市が買った費用等も含めて31億円ぐらい全部でかかっております。そのうち鉄道会社さんが出したのは、私の記憶では5,000万円です。4億円ぐらいを県が出してくれて、残りは全部市の負担と、そういう形であります。

したがって、市駅を整備するときも、基本的には大部分をこちらが出さなきゃならないという、そういう状況は変わらないと思いますので、財政的にも見通しを立てなければならぬと、そういうかなり重いハードルがございまして、時間はかかると思いますが、ただ、もう私が知っている限りでも40何年間ほとんど変わらない状況をやっぱり少しでも打破しなきゃしょうがないだろうというふうに考えておりますので、鋭意東武鉄道さんとお話し合いを進めさせていただいて、私の考えでは、車両工場はマンションか何かになれば東武だってもうかるじゃないかというふうに考えているんですけども、そういうような案を出して、東武さんが乗ってくれるかどうか、そういうような話し合いをこれから始めるという、そういう状況です。

ただ、いずれにしても、市としても市駅周辺の整備は重要な課題であると、そういう認識は持っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

意見 ありがとうございます。大変市長さんから心強いお言葉をいただきまして、ほっといたしました。

実は、川越駅の西口開発に力を入れて、余り市としては、市駅のほうにはどうでもいいやというようなあれがあったのじゃないかなという気持ちも私はあったものですから、ちょっといやみにもなるかもしれませんが、そういう意味で、川越駅を確かに西口を開発されるのは大変結構ですが、それと同じように、市駅のほうにも力を入れていただければということが我々の要望でございますので、徐々にではありますけれども、市のほうのそういうような東武との接触をうまく持っていただいて、進めていただきますように、強くお願いを申し上げまして、終わります。ありがとうございました。

《少年少女スポーツ大会、スクールゾーンの見直し》

意見 市のほうからのお話で、高学年、5、6年生を対象にということで、少年少女スポーツ大会のほうが行われているんですけども、現在5、6年生ですと、サッカー

一、野球等をクラブチームとかに所属している子供たちがどうしても多くて、スポーツ大会に参加できる子供たちが少ないので、役員さんがとても集めるのが大変だという問題がここ何年か続いていまして、年齢制限をせずに、小学生全体でやるスポーツをやりながら、少年少女スポーツ大会を開いていただけないかというのが要望です。

それともう1点は、スクールゾーンについてお願いがあるんですけども、川越総合高校の表側の一通の道路と裏側の一通の道路を第一小学校は通学路になっているんですけども、こちらがスクールゾーンの時間が7時半から8時半ということになっているんですけども、子供たちの登校時間を少しでも安全の時間にということで、本年度ちょっと時間をずらして、この時間に通学路を通れるようにということ、努力はしているんですけども、なかなかそれができない状況であります。

子供たちが大体通ってしまってからスクールゾーンの時間になるということで、ちょっとスクールゾーンの時間の見直しをお願いできたらなと思っております。よろしくお願ひいたします。

市民部長 スクールゾーンの見直しにつきましては、後ほど場所は総合高校の東側と西側ですので、実情を聞きまして、警察のほうと協議していきたいと思っております。それとスポーツ大会のほうにつきましては、今、年齢制限の排除ということで要望ありましたので、担当のほうに伝えて、できるだけ多くの子供たちが参加できるような形で対応していきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

《都市計画道路の進捗状況、医師会の跡地》

意見 今、うちのほうの西小仙波一、二丁目地域の周りの道路、本川越何線というか、あそここのところの今開発を進めて、都市計画の道路で広げる予定になっておりますけれども、今、喜多院ですとか、中院ですとか、あの辺のところは観光スポットになっておまして、人通りが多いんですね。そんな観光客が多い中で、今、草が生えているところは少なくなったんですけども、シートをかぶっているところが多いんですけども、できる限り、早期に実現を図っていただきたいと要望したいと思います。

それと、その先へ今度進む予定、都市計画ではなっておりますけれども、おいおいその先も進むんだらうと思っておりますけれども、交通量が多くなってきますと、大変その辺の地域住民の方も交通事故を起こしたりいたしますので、ぜひその辺のところの実現を図っていただきたいと思っております。せつかく手をつけたところですので、早期の実現をお願ひしたいと思います。

それに伴って、今、西小仙波一丁目の地域内にどのくらいあるかちょっと私わからないんですけども、医師会の跡地が300坪ぐらいあるんですけども、その跡地を

どうやって活用するのか、ただ置きっぱなしといいますか、そのままにさせておくと、やっぱり地域の環境上、余りよくないので、どういう方法で活用されるのか、その辺のところの検討もぜひ計画があるならお聞かせいただきたいと思います。というのは、聞き及ぶところによりますと、放置自転車を置くとか、観光バスを置くとか、いろいろ話が入って来るので、できれば、こういう観光スポットになっておりますので、効率的、効果的な何かうまい活用の計画を示していただければなんと、そんなふうに思いますので、その辺のところをお聞かせいただきたいと思います。

建設部長 まず最初に、本川越駅前通り線という、実は都市計画道路でございますが、本川越の交差点から東、喜多院、中院方面へ向かって伸びておりますが、今現在、ガソリンスタンドのあたりでとまっている状況でございますが、その先、東に向かって埼玉病院の南北の通りまで、ちょうど交差点のところにおそば屋さんがあるところですが、そこまでを今事業区間として、用地の取得を行っているところでございますが、おかげさまでおそば屋さんのところまでの用地取得率が今99.2%までまいりました。あと一息でございます。

これが完了すれば、既に予算は確保しておりまして、例えば今年度のもっと早い時期に用地が100%になれば、事業化もすることが可能でしたが、この時期にまいっていますので、改めまして来年度も引き続きその事業の工事費等の予算は要望していこうと考えておりまして、それと並行して残る地権者様のご同意をいただいた上で、何とか早急に整理をしていこうというふうに考えております。

それが完了後、そのおそば屋さんのところから、さらに東に向かってまいりますと、ちょうどまた丁字路にぶつかりますが、喜多院の角のところでございますが、そこまでが本川越駅前通り線という都市計画道路でございます。

そこでぶつかったところで、実は市内循環線という都市計画道路とぶつかりますが、そこまでが将来的には整理して、できればちょうど喜多院の境内をなめるような形で都市計画道路がございますので、文化財的なことも整理をしながら、都市計画道路として拡幅をしてまいりたいというふうに考えておりまして、ゆくゆくは本川越駅前通り線は東に向かってぶつかりますと、それから今度は北へ向かって県道の川越日高線方面、こちらのほうとぶつけて、途中で狭い道でとまるのではなくて、都市計画道路でやはり広い道路から広い道路まで、車が血液のようにめぐりませんと、事業の効果がございませんので、何とか喜多院の東側でございます既存の太い道路ですとか、あるいはできれば県道の日高線あたりまでは整備していきたいというふうには考えておりますが、いかんせんそちらにつきましては、まだ今のところ、事業スケジュール

はたっていない状況でございます。

まずは先ほど言ったおそば屋さんの交差点までを早急に整備をしていきたいというふうに考えております。

市長 埼玉病院の南側の医師会の跡地につきましては、あれは基本的には今、話に出てきました本川越駅前通り線の道路にかかる地権者の人が、近くで代替地がほしいという要望が出たときに使うという、そういう考えで取得したものでありまして、例えば駐輪場にするとか、バスの駐車場にするとか、そういう予定は全くございません。

意見 今の都市計画道路につきましては、防災の観点からは非常に大切な事業だろうと思っておりますので、ぜひ早期実現をお願い申し上げたいと思っております。

《遊休土地、交差点の改善、公共施設の設置》

意見 まず1点、県、市の遊休土地、また建物の放置状態でそのまま全然動いていないというようなところがうちのほうに2カ所ばかりあります。1点は、仙波氷川会館の北側、昔の市営住宅の跡地です。今現在は、選挙管理委員会の雑物が置いてあるのと、それと防犯の備蓄庫という南側、16号との間のところでございます。この仙波地区は、ご案内のとおり90周年ということで、90年前に川越市と合併した以降、それ以来、公共施設は全くないというのがこの地域でございます。そういうことも勘案していただきまして、何とかご配慮いただきたいということで、15年からお願いして、書面で3回ぐらい、それから口頭で2、3回ということで申し上げてきましたが、どうもいつになってもこうなるであろう、こうするんだというものは全く我々のところには返ってきてないという一つです。

それともう1点、天然寺の交差点ではないかと思いますが、あの天然寺の交差点から南田島へ抜ける農道、元は農道でしたが、現在、どうにもならない状態です。天然寺の交差点から南田島のほうへ、耕地の真ん中ぐらまで自動車が続いてしまう。それと新河岸川の東側、警察のほうから来まして、そのまま行かないで、岸町のほうへ迂回しちゃう人が相当おります。7時、8時台になりますと、どうにもならないという状態です。

それに付随しまして、今申し上げました天然寺から田島道というのがありますが、そのところに県の教員住宅が40年以上前からあるわけですが、現在、もう数年間何も入っておりません。だれ一人入っておりません。そしてそこは、県の所有物と聞いておりますが、そこも2棟ありまして、相当広いところでございますので、これらの活用について、県のほうへ何とか取り計らっていただいて、地元で使用できるようなことについてのご配慮をいただけないかということで、3点ばかりお願い申し上げます。

た。よろしくどうぞお願いします。

市長 市と県の遊休土地の件については、前のタウンミーティングでも恐らくご要望いただいたかと思えます。県の土地については、なかなか県が私の記憶では、はっきりした方針を示さないというようなことがあって、どうにもならないという、そういう状況であったかというふうに思っております。

仙波地区に公共施設がないというようなことで、そういうお話は前からちょうだいしておりますので、検討をさせていただきたいと思っております。

それと、道路の点については、バイパス、16号の道路の抜け道として使われているという、そういうようなことであろうかと思うんですが、交通事故等も起こらないように、何らかの対応策を警察とよく協議をして、講じていきたいというふうに考えております。

あと、今、寺尾大仙波線というんですか、あれが北側のほうは陸橋をおりたあたりでとまっているんですが、あれについても、今新河岸のほうを道路を整備するための買収をやっているところなんですけど、向こうが南側がつながったとしても、北側がつながっていないと、ほとんど役に立たない道路になってしまうんじゃないかというふうに私は危惧しておりますので、あれについても、何らかの形で進捗を考えていかなければならないと思っておりますので、それと並行して、先ほどおっしゃった農道の改善を検討していきたいと考えます。

建設部長 今、市長から話がありましたとおり、大きな太い道路といたしましては、砂中学校のわきに、途中まででき上がっている道路がございますが、あれが北側に向かわずと北上いたしまして、川越警察署のすぐ北側の広い道路までつながる予定になっております。ですから、川越警察署のところからずっと南に下って行って、滝ノ下の昔の処理場の左わきを通って砂中のところを橋を渡って、それで砂地内、新河岸駅方面へ向かう都市計画道路でございまして、まだこれが途中でございまして、最終的にこれができ上がりますと、かなり通過交通、足の長い交通やこういった道路を活用することも可能になってくるんじゃないかなというふうに考えておりますが、もう1件、先ほど天然寺のところの交差点のお話でございましたが、確かにここは変形の十字路でして、国道16号というああいう太い道路と細い道路とが交差している箇所でございますので、大変交通上、支障のある場所の一つだというふうに認識しております。

ただ、道路拡幅等々になりますと、かなり時間ですとか、予算も大変必要になってまいりますので、そういったことを考えますと、もし今現在、大変危険な状況がある

とすれば、短期的に何か改善する方策はないものか、そういったことを検討してまいりたいというふうに考えておりました、交差点につきましては、一度また改めまして、実情、地元の皆様方のご懸念の内容をぜひお聞かせいただいた上で、どういったことが短期的にできるのかということを経営的に検討させていただきたいというふうに考えております。

あと、市営住宅の跡地の関係でございますが、これにつきましては、この場で具体的なお話をできなくて大変恐縮でございますが、これにつきましても、たびたびお話をいただいているということでございますので、改めまして、今の状況等をご報告させていただきたいというふうに考えます。

《子どものための施設、休日診療所》

意見 川越市の中央区というんでしょうか、この地区の子供のための施設が非常に少ないように感じているんですね。特に公園というのはかなり少ないと思うんですけども、近くに公園がないか、または神社やお寺に隣接した薄暗い、割と子供を1人で遊ばせるのはちょっと心配だなというような公園ばかりで、近くにないものですから、やはり子供は通行する車に邪魔にされながらも、道路で遊んでいるような状況です。

私の自宅は小仙波2丁目なんですけれども、近くにオアシスですとか、あと川越医師会、新しく大きな建物、立派な建物ができましたけれども、子供のための施設ではないですね。休日診療所にお世話になることはあるんですけども、近くのお母さんが休日診療所に駆け込んだところ、君と初めて会ったからよくわからないとか、僕は専門じゃないからわからないんだよというご回答で、結局は休日診療所のお世話になっても、そのまま医大の夜間にかかるというようなお話を何件も近くの方から聞いています。

立派な建物ができましたけれども、そこが機能していないようであれば、それは全く意味がないと思うんですね。その辺をぜひ改善していただきたいということと、あともし公園、新しいものがつくれないということであれば、オアシスがありますけれども、高齢者のための施設ではなくて、たとえワンフロアだけでもいいので、児童館のような使い方をしていただくとか、あとは郊外でもいいので、大概子供を連れていきますと車ということになりますが、川越市は児童館は駅前で車が置けない施設なんですね。置けても30分無料ということで、車を置いて子供を遊ばせるという使い方はほぼできていない状況です。郊外でもいいので、そういったちょっとした施設をつくっていただけたら、子育て期のお母さんたちもちょっと安心して子育てができるんじゃないかなというふうに感じています。率直な意見として受けとめてください。

市長 休日診療所につきましては、川越市医師会のほうに委託をしております、運営は医師会がやっておりますので、医師会さんのほうに今のようなご意見と申しますか、苦情と申しますか、そういうようなものがあつたということはよくお伝えして、改善を図ってもらふようにしていきたいと思つています。

それから、子供のための施設、確かに川越市は人口の割に児童館の数も実はかなり少ないという、そういう実情がございまして、そうは言つても財政的な面とか、そういうもので厳しいんですが、新しい施設をつくるときに児童館的なものをつくり込むとか、そういうような形で工夫していきたいというふうには考へています。

あと、公園については、オアシスの近くに、水道の浄水場、井戸があるところのすぐ南側の昔たんぼだつたところを一応公園用地として市が取得して、用地としては持っているんですが、公園用地ですから、公園にする予定ではあるんですが、ちょっとまだ動かせていないという状況ですので、これについても、なるべく早く対応をするようにして、あの近くに公園をふやしていきたいというふうには思つています。

《中学生の地域の行事への参加、交通ルール・マナー、自治会への加入》

意見 私耳を患ひまして、相手の声が聞こえなくなつて、特にマイクを通しますと、補聴器をつけても全然言葉がはっきりしませんので、文書で回答をいただきたいんですが、よろしくお願ひします。

1つには、中学生が地域の諸行事に参加しないんですよ。昔は、私が子供のころは中学生もラジオ体操をやつても、中学生が先生になつて、小学生を並べて一生懸命ラジオ体操をやつたものなんですが、全くその風習がなく、中学生はすべての行事に参加いたしません。ごみゼロ運動もしかり、ラジオ体操、盆踊り、お祭り、こういうものに対して、無関心でありまして、全然といつても、私の町では山車を見てもわかると思つていますけれども、中学生はいましたか、いないでしょう。そういう教育というのが本当にいいのかどうかですね。ちょっとわかりませんが、ぜひその辺のところを学校を含めて、教育委員会を含めて、ご回答をいただきたい。

さらに、高校についても同じなことなんですが、学校のグラウンドが左周りですから、トラックは左周りですよ。ですから、長距離走の訓練をするときに、道路を左側を走るんですよ、みんな。私の近くでは総合高校も工業高校も第一中学もそうなんですが、みんな道路を左側を走つているんです。ですから、年寄りのカートなんかを持って右側を歩いていると、ぶつちやうんですよ、対面通行で。年寄りも転んだりする場合があります。もう中学生以上になると、大きいですから、反対に年寄りはやられちゃいますよね。そんなことがありますので、その辺は一体どうなつてい

るのかと、長距離の訓練を右側通行でできないのかと、トラックが左だから、あくまでも左なんだったら、警察の許可でももらってやっているのかどうかですね。その辺も含めて、厳しく指導していただきたいなと思うんです。

そういうわけで、交通ルールも確かに乱れておりまして、クリアモールなんかどっち歩いていいかわからないんですね。私、30年ぐらい前に香港・マカオにいつてきましたけれども、全く保険があるないだけです。ぶっつけば保険で何とかなると思っているんです、日本は。香港・マカオは保険がないから、車が来ると逃げて歩いていく歩行者だったんですね、30年ぐらい前は。ですから、全く交通ルールを無視していることが多いので、車も右側駐車をするのも平気です。そういう状態です。各通りそうですよ、クリアモールのことだけを言っているわけじゃない。ぜひ交通ルールを守るように指導していただきたいなと思います。特に、中学生、高校生は、どっちを歩いたって、これはクリアモールと同じ、もう並みですよ。遵守が全く落ちちゃっているんですね。そこら辺は厳しくまた我々も指導しますけれども、指導しているつもりなんですけれども、ぜひ警察を含めて厳しい指導をしないと、日本人らしくならないと思います。

それと、協働のまちづくりのことを言っておりますけれども、自治会に入る人は、すべて入っていただきたいんですが、アパートの方々については、入っていないほうが多いんです、実は。そういうことで、アパートの管理会社に相談してもだめなんです。自治会長に言ってもだめなんです。ですから、建て主に言ってくれと、建て主もいるんですけれども、建て主も入るか入らないかは本人の自由だと、こうおっしゃるわけですよ。ですから、自治会がどんどん小さくなっていくわけですよ。要するに、会費を払わなきゃ自治会費ありませんから、たとえ月に200円でも。そういうことです。それを何とか建設課で、建設許可をおろす前に、全員に自治会に入ってくれと、そうしないと許可しないぞというようなことをやらしてもらえないかと、一度言ったことがあるんですよ。そうしたら、とてもそれは無理だというお話だったんですけれども、こういう機会ですから、笑い話じゃなくて、本当に真剣に考えてみませんかと訴えてみたいもんです。

ぜひご検討いただきまして、ご回答を文書でいただければありがたいと思います。よろしく申し上げます。

市民部長 今の内容につきましては、できるだけ早い時期に文書で回答したいというふうに思いますので、よろしく申し上げます。

《都市計画道路》

意見 ちょっと気になったことが一つあるんですけども、先ほどの川越駅から循環道路の関係、中原町と六軒町で合同でお話を伺ったことがあるんです。その後、六軒町の方々が非常に多くて、中原と別に会合を持とうというのが、今から随分前ですね、6、7年前になっちゃいますか。先ほどお話にあった今、計画中ぐらいのお話でしたんですけども、今も継続しているんですか。

建設部長 実は市内循環線というのが大変長い路線でございまして、ほぼ旧市街地と申しますが、中心市街地をぐるっと一回り回っているような路線でございまして、その中で一部分ずつを今事業化しております。

一番進めておるのが、まず起点が川越駅のところでございまして、そこからアカシア通りですかね、踏切近くまでをやっておる。まだちょっと地権者様のご同意をいただけないところが残っている。それから、そこを抜かしますと、そのままずっと川越市駅のほうへ南下しまして、市駅のわきをなめながら、ここから日高県道までは実は埼玉県道になりますが、たしか川越市駅停車場線という県道なんですけど、そこまでは全くやっておりますし、ずっと北に向かって末広町ですとか、元町二丁目、喜多町、その近辺も全く今のところ手をつけておりません。

最近、手をつけましたのが、実は宮下町にございまして氷川神社のすぐ山門の前に丁字路がございまして、そこから今度は南に向かって県立川越高校へ向かって氷川神社からそこを今、事業化しようということで、測量等をこれから始めるところでございます。そこから先につきましては、また川越駅のほうへずっと向かっていくんですが、一切着手はしておりませんし、測量もしていない状況でございまして。先ほどちょっと申しましたのが、本川越駅前通り線がこのまま東のほうへ、喜多院のほうへ向かって行ったときに、ぶつかる都市計画道路が今言いました市内循環線と丁字路でぶつかる計画になっておりまして、そういった意味では、本川越駅前通り線の整備とあわせて、市内循環線のうち本川越駅前通り線にタッチする部分についても、かなり優先度を高くして整備する必要があるんじゃないかという考えを持っています。

ですから、大変つまみ食いの今のところ市内循環線については動いておりますので、市民の皆様方からすると、ちょっとわかりにくい部分があるかというふうに思いますが、先ほどほかでもありましたが、例えば川越市内の交通状況ですとか、例えば初雁公園のエリアですとか、喜多院のエリア、あるいは一番街のエリアですとか、そういったところをうまく車や人をめぐらせるためには、最低限どこ部分から都市計画道路を整備しなければいけないのか、その辺を検討しながら、今現在の場所につ

いて事業化を図ろうということで動いているところでございます。

意見 これからもいろいろ計画があると思うんですけども、本川越の西口がある程度開発されますと、川越東武東上から本川越西武の関係について、かなりの道路の幅員が16メートルということも伺っております。したがって、歩道がないんですよ。先ほど市長さんからもありましたとおり、まちの真ん中に県立の女子高校があるんですよ。したがって、川越市の駅前通りも開発の中に今後含めていただいて、歩道をつくっていただかなければ、必ず事故が、これは起き得るとして私どもは考えているんです。地域もお年寄りばかりですから、乗り降りするにしても、逆に言えば、県立女子高校とセットバックしてできるような意思を県と交渉していただいて、その住宅をセットバックして道路の歩道をつくっていただくような、そういうお考えを含めて、循環の関係も計画していただければと。これはまあ、すぐのすぐにはいかないと思うんですけども、ぜひそういった人の動きというものは、今のお考えよりも、もううちのすぐ前の道路、いっぱいですから、動きませんからね、ちょっと何か起きると。要するに回り道が六軒町と中原の二丁目はもうゴーストタウンと六軒町に言われていますけれども、そこで車ですからね。それが西武鉄道、東武鉄道、これもいっぱいになりますからね。ですから、そういうことも地域の住民あつての本意というものを考えていただきながら計画を立てていただく、これは要望としてですから、よろしくをお願いします。

意見 今のお話に出ました都市計画の線は、今は着手されていませんけれども、いずれ着手することになるわけですか。

建設部長 そういうことでございます。

意見 私のところは市駅から石原へ抜ける通りですね。あの説明会が実は5、6年前に行いました。そのときにみんなびっくりしまして、いや、それは昭和37年にできているから、これも基づいてやるんだよということで、けども、一応その話が出てから、いや、ちょっとこれは本当に急な話だからということで、とりあえず市に持ち帰ってしばらくということで、そのままになってしまったんですけども。

建設部長 都市計画道路自体は、将来的にここを道路用地とするということで都市計画決定されたものですから、そこは道路として将来整備するというのが、これが基本でございます。ただ、こういった少子高齢化を迎えてきます。それから各自治体の財政状況、体力等を考えますと、やはりできるだけ選択と集中で必要最小限の整備にとどめるということも、もう一つ、そういった切り口でも我々は考えていかななくてはいけませんので、そういった中では、不必要とは申しませんが、優先順位をそういうも

のについては、あるいはその都市計画道路を整備しなくても、他の路線で代替できるじゃないか、広げなくてもほかに解決策があるじゃないか、そういったさまざまな観点から都市計画道路1本1本のあり方を検証して、今おっしゃったところの都市計画道路がなくなるかどうかわかりません。別ですが、川越市内にありますたくさんの都市計画道路の中でも、廃止してもいいんじゃないかとか、あるいは見直してもいいんじゃないか、そういった議論も今後していく必要があろうかと思います。

都市計画決定しているから、すべて将来的に必ず都市計画道路として整備するかどうかというのは、それはこれからの時代はそうはいかないんじゃないかというふうに考えております。必ず見直しは不可欠になってくるとは思いますが、ただ、川木さんのあたりから、県道日高線のセブンイレブンさんあたりまでですかね、あそこは確かに16メートルの計画区域もございますので、沿道のまち並みが多分みんな消えてしまいます。道路はつくれたけれども、沿道の活気、まちづくりとしてはつぶれてしまう、そういったこともありますので、そういったさまざまな切り口から、その都市計画道路の整備のあり方について、各路線ごとに特徴がありますので、今後検討していく必要はあろうかというふうに思います。

現状では、今、ラインが入っている以上、計画どおり整備を進めていくというのが、今の状況でございます。

《P T Aへの自治会の協力》

意見 もともと子供110番を自治会さんのほうからやらせていただいたもの、今、学校のP T Aを中心に改めてまた配付をして、見直しを図るという形をやらせていただいているかと思うんですが、いろんなことで自治会さんの今までやってきたことと、P T Aがやってきたことというのを、もう少し複合化して、一緒にやられるとありがたいなということが増えておりますので、それをいろいろな面でお考えいただければありがたいなというふうに思います。

例えば、今、小学校に空き教室がいっぱいありまして、その教室は体育館のように夜使うことができれば、自治会活動も、実は昨日も私は新富に住んでいて、お祭りが終わった後、何十人も一緒に集まる場所というのはなかなかなくて、そういう場所に学校を例えば使わせていただくということなら、余計な建設費用もなく、便利になるなというふうに思いますし、土曜日、日曜日よりも学校教室の活動なども考えていければありがたいというのが一つの要望です。

そして、いろんな中で、今、P T Aは女性だけでなく男性もということで、朝の旗当番と、それから不審者が出た時には奥さんを中心として子供たちを迎えに行かな

くちやいけないという状況になっているので、なかなか働くときの制限、外に行って働きたいのに制限が出てしまうという状況がございますので、これは市の要望というよりも、できたら夢に近い話かもしれないんですが、これから増える高齢者の方々に、朝子供とともに学校に行ってもらって、学校の空き教室を使っていろいろ作業をしていただいて、子供たちと一緒に学校から帰っていただくことができるのであれば、私たち働く世代としましては、一生懸命働いて、奥さんとともに働いて、市のほうにも税収アップに寄与できると思いますので、そんなことも考えながら、いろいろ複合的に問題を解決いただくようお願いしたいなということ、要望としてお願い申し上げます。

《来年度のビジョン》

意見 市長さんにぜひお願いしたいんですけれども、ここはちょうど来年度の予算編成時でございます。ぜひ来年度、どんなビジョンがあるのか、簡単にお聞かせいただければと。来年度予算はここで編成するわけですから、来年度のビジョンをちょっとお聞かせいただければありがたい、こんなふうに思っています。よろしくどうぞ。

市長 ビジョンと言っていていいかどうかわかりませんが、来年度予算に関しては、今方向性としては、先ほども少し申し上げましたが、子供たちのための施策をもっともっと力を入れてやっていきたいというふうに考えています。

先ほども申し上げましたが、通学路整備について、今までどちらかという、比較的早期にできる、余り費用のかからない整備の仕方、例えば路面表示をきちんと消えているところがないように書き直すであるとか、道路標識をつけるとか、いろんな注意の看板を立てるとか、そういうような形での通学路の安全確保はこの何年間かやってきたわけでありましてけれども、それと並行して、やはり抜本的な安全対策をしていかなければならない。これは生活道路の整備ということにもつながるんですが、そういうために少し予算を多めにとろうという、そういうようなことも考えています。

それと、子供さんの医療費等についても、この10月から小学校6年まで通院も入院も無料化したわけですが、そういう点についても、できる限り早い時期に中学校3年までの医療費を無料化していきたいと、これは次年度実現するかどうかはまだ何とも言えませんけれども、なるべく早い時期に実現したいというような形で、子供のための施策を特に力を入れてやっていきたいというふうに考えています。

もちろんそれ以外について、箱物についてはもう既にしかかり中のものがたくさんございまして、これは予定どおり仕上げていくと、そういう考えでやっております、先ほど川越駅西口に集中し過ぎているのではないだろうかというふうにおっしゃら

れましたけれども、西口だけではなくて、新河岸のほうが駅周辺の整備を鋭意進めておりまして、それに伴う道路等も買収を進めているところです。こういう点についても、しっかりとやっていくと。

私の考えとしては、まちづくりについて、少し長いスパンの計画をしっかりとつくって、もちろん私が市長でいる間に当然できっこないよという部分については、しっかりした計画をつくりたいというふうに考えています。特に、市駅を中心としたあたりについては、そういうことを強く感じています。

それ以外にも、霞ヶ関であるとか、新河岸であるとか、南古谷であるとか、駅を中心としたまちづくりについて、これから先、その地域の人に中心になって考えてもらうような、そういうまちづくりを進めていきたいと、これは3年半前に就任したときから考えていたことなんですが、なかなか手がつけられなくて、進んでこなかったんですが、周辺地域の駅を中心としたまちづくりもしっかりと計画を地域の人たちと一緒にやってつくって、行政、政治というのは、長いスパンできちんとした計画をつくってやっていくべきだというふうに考えておりますので、お金がなくて、なかなかそんな計画をつくったって、実現できないじゃないかというふうに言われるかもしれないけれども、でも一定程度の長いスパンでの夢というか、ビジョンをしっかりとつくっていきたいなど、箱物に関してはそういうようなことを考えています。

本日は、本当にお忙しい中、お集まりをいただきまして、大変さまざまな貴重なご意見をちょうだいいたしまして、本当にありがとうございます。

このようなタウンミーティングの場だけではなくて、いろんな機会、市民意見箱というものもございますし、あるいは直接ご要望、ご提案等をちょうだいしても構いませんので、いろんな皆様方のお考えを市のほうに今後ともお寄せいただけたらというふうに考える次第です。

本日はどうもありがとうございました。